

目標達成計画

作成日: 令和 4年 4月 8日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念に掲げている「感謝」「やさしさ」「安心」について、「感謝」だけでも利用者からされる感謝、職員が利用者へする感謝、職員間での感謝と様々な感謝がある。漠然と理念だけを頭に入れて行動しているため、ホームの特色が引き出せていない。	理念の意義を理解し、地域の方が「潮荘グループホーム」と聞くと温かい家庭のイメージがすぐに浮かぶようなホームを目指す。	理念の意義が理解できるよう、直近の勉強会で議題に取り上げる。定期的に職員間で理念の振り返りを行う。	6ヶ月
2	2	コロナウィルスが蔓延する前は、地域の清掃活動に参加したり、消防団との関わりが少しずつ持ってきたところであったが、コロナ禍により地域への外出も困難となり、関係性が薄くなってきている。	コロナ禍でもホームの状況や取り組み等を発信し、地域の一員として交流が定着できるようになる。	コロナ禍でも避難訓練等の実施内容を消防団へ報告し、助言や指導をもらう。コロナ禍が収束したら、利用者の体調には十分気を付けながら、少しずつ地域へ出掛け、顔なじみの関係を構築していく。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。